

平成30年度 指定管理業務 評価票

深北緑地	【指定管理者】 北緑地パートナーズ	深	【指定期間】平成29年4月1日～ 平成34年3月31日	【所管課】 枚方土木事務所 都市みどり課
------	----------------------	---	-----------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S～C)		評価 (S～C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】 深北緑地が防災公園・治水緑地としての機能を持つ公園である事をパンフレットやWebで周知するとともに、イベント等においても案内することができた。 また「利用最大化」方策として下記を実施した。</p> <p>①公園の利用最大化を目的に、閑散期の利用促進策として、8月にテニスコート2時間以上利用の方、半額キャンペーンを実施した。 ②近隣史跡及び深北緑地内をコースに取り入れた「ウォーキングステーション」は継続して稼働中。 ③深北の日、まちかどプランツ等、地域密着イベントを定期的に変更実施した。 深北の日8回、まちかどプランツ10回、大型イベント2回。 ④高齢者教室30回実施(H30.10月31日現在) ⑤寝屋川の水位上昇、大雨・洪水警報、及び注意報に対し、適切に対応した。</p> <p>【自己評価】 ■スポーツ施設の割引においては、部活割やポイントカードの導入を果たせた。 ■高齢者教室においては、テニスコートへのW受講など相乗効果も生まれた。また高齢者教室を参考に「大型ヨガイベント」を企画することができた。 ■フェーストアレイ気象レーダを活用した豪雨検知システムの実証実験に協力した。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○深北の日やまちかどプランツなど地域密着イベントを定期的に変更実施している。</p> <p>○高齢者教室とテニスコートとのW受講といった相乗効果や高齢者教室を参考に「大型ヨガイベント」の企画などを実施できている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 地域密着イベントを定期的に変更実施している点、大型ヨガイベントの企画など、公園利用者のニーズに応じた管理運営を適切に行っていることは評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】 ①オーパス携行調査。134人中 20人(15%)が不携行のため注意喚起を行った。 ②スポーツ施設の大会使用率を土日祝30%以下、日曜40～50%以下の運用とした。 ③施設や広場などの占有に対しては、日々の巡視活動や園内放送で注意喚起した。 ④10/11 代表企業の法務担当により人権研修を実施した。受講者35名 ⑤BMX愛好家との意見交換の場を設け、公園の適正な利用に向けたルールづくりに取り組んだ。⇒BMX愛好家とは毎月深北の日に、意見交換会を実施中。 3/30 ねこの会の定例ミーティングを実施しTNR活動を継続した。避妊手術実績、5月・6匹、11月・20匹。</p> <p>【自己評価】 ■オーパス携行確認では職員が現場へ向かうことにより、利用者の利便性が向上している。 また、大会申請の受付をルール化することにより、一般利用者からの苦情等をなくすことができた。 ■自由広場等の独占使用に対しては注意喚起だけでなく、占用許可、行為許可による利用方法を説明している。 また危険行為に対してはルールチラシを配布し理解して頂けた。 ■大阪府枚方土木事務所、深北緑地パートナーズ、BMX愛好家の三者でBMXコースの共同管理に関する覚書を締結。 共同でコースの安全確認、維持管理を実施した。これによりBMX広場での事故がなくなった。 また、10/21BMX愛好家の開催イベントを深北緑地のイベントとして共同開催することができた。今後は波の広場においても参考となる事案となった。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○スポーツ施設の大会使用率の運用を定めることにより、一般利用者からの苦情等がなくなっている。</p> <p>○自由広場等の独占利用に対しては、注意喚起だけでなく、占用許可や行為許可による利用方法を説明するなど、適切な利用が行われるよう取り組んでいる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 施設利用が適切に行われるべく、利用者への説明等に努めていることが評価できる。 また、特定の利用者から広く一般の利用者への公園利用の促進に向けた取り組みは評価できる。 引き続き、一般利用者の公園利用の促進に向けて努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <p>■公園活性化</p> <p>①大型イベントとして、ザ・タ涼み(997名)、音楽祭(4,000名)を実施。H31.3/10グリーンフェスタ実施予定。 ②ふかきたスポーツフェスタ・走り方教室はグリーンフェスタ内で実施予定。 ③5/5 お絵かきフェスタを開催(園路にチョークで落書き)。 ④5/19~20 ジュニアサテライト大会(大阪府テニス協会公認) 参加:276名 6/16~17 兵庫国際ジュニア大会(兵庫県テニス協会後援) 参加:99名 8/4 大阪JPTA練習会(大阪府テニス協会主催) スクール生大会=計画中。 ⑤6/24 レッドブル主催による、スケートボードイベントを実施 参加:200名 ⑥7/20 クラウドゴルフ交歓大会を開催。(第9回深北緑地クラウドゴルフ交歓大会) 参加:287名 ⑦12/8~12/16 大陶器市を開催予定(初開催)</p> <p>■利用者サービスの向上</p> <p>①ラクロス競技者に向けて、ゴール2台を新規購入。利便性を向上させた。 ②早朝利用(5/12~9/30)、タイム7(5/7~8/19)それぞれ期間延長実施。 ③8月にスポーツ施設割引「半額キャンペーン」を実施。 ④駐車料金が10%お得な「プライベートカード」を販売。 ⑤オーパス利用者の駐車料金を最初の1時間無料にした。(平日のみ) ⑥テニススクール生のコート利用料金半額サービスを実施(平日のみ)及び、テニスコートの学割、ポイント制度を実施した。</p> <p>※来園者数(H30年4月~10月):418,531人 ※稼働率(H30年4月~10月平均) テニスコート32%(平日8% 土日祝72%) 軟式野球場58%(平日36% 土日祝88%) 球技広場39%(平日18% 土日祝68%)</p> <p>【自己評価】</p> <p>■ラクロス用ゴールを設置した事により、徐々にではあるが利用者が増えている。 ■8月に平日スポーツ施設半額キャンペーンを実施し、「お得感」を引き立てることができた。 ■利用者の利便性向上策、稼働率向上のため、テニスコートの学割、ポイント制度を導入。昨年に引き続き早朝利用を テニスコートだけでなく、野球場、球技広場に拡大し、利用者的好评を得た。 ■来園者数は418,531人、前年比89%と落ち込んだが、特に台風の影響により9月が30,000人減となった。 内訳中の球技広場利用者数は10,955人、前年比30%アップと向上。 これは各競技団体への積極的な勧誘及び日常の維持、運営管理が行き届いた結果と考える。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○様々なイベントを実施し、着実に参加者を得るなど、利便性の向上に取り組んでいる。</p> <p>○スケートボード教室を誘致し、利便性の向上に努めるとともに、防具装着の啓発に寄与した。</p> <p>○昨年度に引き続き8月のテニスコート半額キャンペーンや部活割、ポイントカードの導入など利用者の声を取り入れた取り組みを行うなど非常に高く評価できる。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされており、更に、実施計画書の内容以上の成果をあげている。</p> <p>台風等の影響の中、事業計画書に記載された大型のイベントをすべて実施している点が評価できる。</p> <p>また、ラクロスゴールの設置するとともに、スケートボード教室を誘致し、利便性の向上に努めるとともに、防具装着の啓発を進めた点、8月のテニスコート半額キャンペーンや部活割、ポイントカードの導入など利用者の声を取り入れた独自の取り組みを行った点などは高く評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者の利便性向上に向けた取り組みに努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況。(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)</p> <p>(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>	<p>【実績】</p> <p>①テニススクール開催中。 ・開催……毎週 火曜日 ・クラス……初級、中級、ジュニア ・会員……19名(10月時点)</p> <p>②毎週火曜日にヨガ教室開催中 ・開催……4回/月 ・会員……9名(10月時点)</p> <p>③スポーツステーションではテニス、ジョギング、ウォーキング、クラウドゴルフ関連アイテムを展開中。 ④繁忙日の臨時売店として、キッチンカーを芝生広場、ロケット広場にて展開中。 4月~7月営業 9月~11月も営業 計画以上の収益を上げています ⑤4月よりカサセルイ営業開始(¥200/1回) 約400個の販売実績</p> <p>【自己評価】</p> <p>■テニススクールのお客様がヨガ教室に入られるなど、相乗効果が生まれている。 ■スポーツステーションでは、引き続きお客様の要望を受け入れて導入した「クラウドゴルフ」商材を展開中。 ■キッチンカーは予定通りの収益を上げている。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○テニススクールやヨガ教室の開催、キッチンカーの展開など、収益事業が着実に行われている。</p>	A	<p>事業実施計画書、公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施されている。</p> <p>キッチンカーによる飲食物販売やテニススクールやヨガ教室の開催など、収益事業が着実に行われていることは評価できる。</p> <p>今後更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <p>①苦情・要望事項は府様式21号を活用し、お客様からの情報記録と処置状況を職員全員に周知徹底。</p> <p>②巡視計画書に則り日々の巡視を行なった。重大事案に際しては、迅速な初期対応と、日々の朝礼や職員研修会にて職員に周知・徹底し、情報共有を行った。</p> <p>③園内放送で利用者への注意喚起を行い、トラブルの未然防止に努めた。</p> <p>④四条囃警察の防犯委員会に登録し、事故やトラブルの際には警察と連携を取り対応研修会に参加したセーフティーレディース(地域の防犯活動)に職員を派遣した。今回活動に対して、四条囃警察より表彰される事になりました。</p> <p>【自己評価】</p> <p>■波の広場の利用について大阪府枚方土木事務所、深北緑地での意見交換や共同管理によって、ヘルメット着用等利用者への啓蒙や、安全運営の取り組みができた。</p> <p>■防犯委員に加入し、研修会等への積極的な参加により、四条囃警察、寝屋川警察と連携を強化することができた。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○昨年度のBMX広場での事故を受け、BMX愛好団体(FK170)と管理協力に関する協定を締結し、毎月深北の日に意見交換会を行うなど、トラブルの未然防止に向けた取り組みを行っている。</p> <p>○園内放送での注意喚起や警察の防犯委員会への登録など、業務全般を通じて、トラブル防止が着実に実行されている。</p>	A	昨年度のBMX広場での事故を教訓にしたBMX愛好団体(FK170)との協力、警察との連携強化、園内放送での注意喚起、巡視時の注意喚起、そして非常時の迅速かつ丁寧な対応が、トラブルの未然防止につながっており、評価できる。引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術についての確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>①湿地生物への配慮として、北河内の原風景区域の再整備の代替案として、関西タンポポの植生調査・河内木綿の栽培、ヒガンバナの球根植付等を実施した。</p> <p>②園路脇や恐竜広場の西側にある墓地周辺、低木、および高木の垂れ枝の剪定を実施。見通しの悪い箇所をなくし、公園を安全に利用できる管理を行った。</p> <p>③サクラの成長管理として以下を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の園の図面化が終了。9月4日の台風21号の通過により、全滅に近い状態となり、再度整備計画を作成する。 ・標本木として、支根促進目的の土壌改良を実施した後、発根調査を行い、樹勢回復を確認した。 ・標本木をエリア別に拡大し、調査を継続。「桜の園」整備計画に反映する。 <p>④沿道を彩る管理として、昨年に続き今年もA地区にヒガンバナを植栽した。</p> <p>⑤主要動線を確保するため、適切なエッジ除草を実施した。</p> <p>⑥懐かしい土手の管理として、堤体斜面においてはヨシ・オギ等の生育状況を勘案した除草を実施した。</p> <p>⑦草地管理、芝生地管理においては、除草等を所定の回数・面積以上実施すると共に巡視員からの景観指摘にも随時対応した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>■台風21号による被害は甚大で、伐採、集木処理をエリア毎に集中して作業を実施。A地区・C地区は4日後の8日午後、倒木だけでも百本以上のB地区は約1ヵ月後に一般開放出来た。お客様の安全を第一に、現在も集木エリアの縮小化、枯枝・折枝の処理を継続して実施している。</p> <p>■樹木管理においては、「樹木の履歴書(危険木調査)」を作成。精度の高い状況の把握ができています。</p> <p>■花壇管理においては、昨年に続き、大阪府の万博誘致活動に協力し、水辺広場円形花壇が万博誘致のロゴマークのデザインになるよう花苗を入れ替え植栽した。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○湿地生物への配慮としてヒガンバナの球根植付などを行うとともに、土手管理としてヨシやオギ等の生育状況を勘案した除草を行うなど、業務全般を通じて、草地管理等が着実に実行されている。</p> <p>○台風21号の影響により桜の園のサクラが全滅に近い状況となり、これまで整理していた整備計画を再考せざるを得ない状況となったが、倒木を免れた希少品種のサクラの再生に取り組むなど評価できる。</p>	A	事業実施計画書、公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施されている。業務全般を通じて、草地管理等が着実に実行されている点や、台風21号の影響による倒木を免れた希少品種のサクラの再生に取り組んでいる点は、土壌改良方法に疑義があるものの、その姿勢は評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	実績】 ①園内清掃は毎日行なっているが、特に繁忙日前後の月曜、金曜日は集中清掃を実施している。 ②管理マニュアルにおいて、便所清掃は週2回だが、美観や清潔を維持するため毎日実施している。 ③塵芥清掃は、休日前後に実施し環境に配慮している。回収したゴミは可燃・不燃・ビン缶等に適切に分別し処理している。 【自己評価】 ■7月6日の集中豪雨により、A地区が冠水したため、深野池の水位が下がるのを確認後、施設(四阿、手摺、ベンチ等)の高圧洗浄、消毒を速やかに行い短時間で、開放した。 ■水飲み場の清掃を定期的に行い、衛生管理に努めている。 ■側溝の清掃を定期的に行い、雨水排水を良好な状態に保っている。	A	○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。 ○美観や清潔を維持するため便所清掃を毎日実施するなど、業務全般を通じて、管理マニュアル以上の頻度で実施している。 ○7月豪雨時にAゾーンに越流したため、水位が下がった後に、ベンチや園路等の公園施設全般の高圧洗浄や消毒をすみやかに行い、短期間で開放できたことは非常に高く評価できる。	S	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされており、更に、実施計画書の内容以上の成果をあげている。 7月豪雨時に越流した際、ベンチや園路等の公園施設全般の高圧洗浄や消毒をすみやかに行い、短期間で開放できたことは高く評価できる。 引き続き積極的な取り組みに期待する。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <p>■運動施設の運営管理</p> <p>①球技広場……芝生広場、自由広場で行われる小規模運動会の申請に対しては、積極的に球技広場の利便性を紹介し利用促進を行った。</p> <p>②テニスコート……年間を通し落ち葉等の清掃を早朝(8時)より実施中。</p> <p>③軟式野球場……雨天対応(雨除けシートを敷く対応等)は利用者と協議の上、実施中。</p> <p>④受付対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーパス携行確認及び本人確認を4/23,5/28,6/24,7/17,8/25,10/27に行った。調査人数134人中20人が不携行(15%)のため、注意喚起。 ・大会使用についてのマニュアルに基づき、適正に大会を許可。 ・現場で営利目的のスクールの実態は把握しているが、現場での金銭授受は確認できていない。受付だけの問題とせず、ミス/全体で対策の検討を行っている。 ・常習違法駐車については寝屋川警察と相談中だが、繁忙期には警備員を配置しトラブル防止に努めている。 <p>■運動施設の維持管理</p> <p>維持管理業務日報の通りです。</p> <p>■運動施設の維持管理</p> <p>維持管理業務日報の通りです。</p> <p>①テニスコート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常管理 4/3~10/31 計33回 ・定期管理 4/25~10/11 計11回 <p>②球技広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常管理 4/4~10/26 計30回 ・定期管理 4/17~10/9 計10回 ・定期管理 5/16~10/10 計3回 ・定期管理 1回/年 <p>③軟式野球場 (内野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常管理 4/5~10/26 計30回 ・定期管理 4/5~10/10 計12回 ・定期管理 5/15~10/10 計4回 <p>(外野ライン部フェンス際)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常管理 4/5~10/26 計30回 ・定期管理 4/5~10/10 計12回 <p>(外野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人力除草 4/2~10/19 計3回 ・機械除草 4/10~10/26 計17回 <p>【自己評価】</p> <p>■今年度は夕涼みを球技広場で開催し、翌日グラウンドの予約が入っていた為早朝のグラウンド整備を行い、利便性の向上に努めた。</p> <p>■野球場の芝生の人力除草を行い、メリケントキンソウの駆除を実施した。</p> <p>■スポーツ施設の一般利用者に弊害がでないよう、大会許可申請のマニュアルを整備・活用する事により、苦情等をなくすことができた。</p> <p>■土日祝の早朝テニスコート清掃に加え平日もコート状況を確認し、必要に応じ整備・清掃を行ない美化に努めている。</p> <p>■頻発するテニスネット破損に対応するため、テント用補修テープを導入。利用者の利便性向上に繋がっている。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○雨天時の軟式野球場に雨除けシートを敷き、雨天後に速やかに利用できるよう工夫したり、テニスコートで落ち葉清掃を毎日行うなど、利用者が快適に利用できるよう、意識して取り組んでいる。</p> <p>○野球場芝生の除草を人力で行い、メリケントキンソウの駆除を実施している。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>野球場やテニスコートなどの運動施設の適切かつ柔軟な対応や、メリケントキンソウ対策などは評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者の利便性向上に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>①自然環境の維持創出の取組みとして、除草範囲をエリア分けし、生きものが生育しやすい管理を実施した。</p> <p>②自然(環境)学習の取組みとして以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から「フィカタツクのチャレンジミッション」を実施し、深北緑地の樹木や花に触れるイベントを毎月実施した。 ・7月19日 象鼻杯(氷野小学校にて開催) ・10月28日 レンコン掘り隊 ・11月4日 どんぐりウォッチング(寝屋川市環境政策課、寝屋川市の自然を守る会等) ・11月5日 レンコン掘り体験(氷野小学校にて開催、門真運根農家) <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■園内のカシナガノキクイムシの発生が収束し、ナラ枯れ防止のボランティア活動を一時終了した。 ■綿畑、花畑の育成をボランティアの方々と検討しながら実施した。 	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○ナラ枯れ防止に取り組んでいるボランティアの協力によりカシノナガキクイムシの発生が収束した。</p> <p>○除草のエリア分けにより生きものが生育しやすい管理を実施したり、さまざまな自然(環境)学習を開催するなど、業務全般を通じて、実施計画書の提案などに沿った運動施設の管理が着実に行われている。</p>	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 カシノナガキクイムシの発生が収束した点、除草のエリア分けにより生きものが生育しやすい管理を実施している点は評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <p>①利用者の安全確保については、深北緑地マニュアルに基づき対応できている。</p> <p>②事故や災害履歴については、様式第21号報告書にて管理している。</p> <p>③巡視計画書を各担当に配布し、2名1組で巡視を実施。遊具については日々点検を実施・記録している。</p> <p>④不正利用を発見した際は、現場での注意指導を実施し、また園内放送でも警告・注意喚起行なった。特にBBQ利用者へは重点的に実施した。</p> <p>⑤利用者の利便性の向上と安全確保において、特に週末は交通誘導員の増員と適正配置に注力した。また車両等誘導看板を作成し安全誘導に努めた。</p> <p>⑥事務所にAED配置及びメンテナンスを実施している。</p> <p>⑦心肺蘇生法・AEDの使用法等救命救急技能の習得については、月1回の職員研修にて実施予定。</p> <p>⑧事故に備え、「施設賠償責任保険」「イベント傷害保険」「スポーツ障害保険」「自動車保険」に加入している。</p> <p>⑨持ち込みイベント開催時には、事前に主催者と安全管理についての確認を行っている。</p> <p>⑩重大事案発生時には迅速な初期対応を行い、二次被害の発生防止に努めている。</p> <p>⑪波の広場の安全対策として大阪府枚方土木事務所と協議を重ね、防具着用の徹底の声掛けを継続して実施。</p> <p>また、防犯カメラを設置し日々安全確認に努めている。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■巡視の強化やガードマンの配置等により、安全確保に努め、大事故の発生を防止することができている。 ■波の広場での事故の発生も大幅に削減することができた。今後、防具の着用率アップにより重篤な事故の発生を防止できると考える。 	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○巡視の強化やガードマンの配置等により大事故の発生を防止したり、波の広場では毎日巡回を実施することで防具着用義務化の抑止とするなど、利用者の安全確保に向けた取り組みに大いに評価している。</p>	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 巡視の強化等によって、事故の削減・予防に努めている点や、防具の着用率向上の取り組みなど、利用者の安全確保に向けた各種取り組みは評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <p>月1回の職員研修会において、下記の訓練を実施。</p> <p>①6月に大阪府の防災訓練に協力し、職員の防災訓練を実施。また、1月に予定されている地震訓練にも万全の体制で臨む計画。</p> <p>②2月に一次救命教育(大東消防)による実地訓練を実施予定。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■水防体制の認識については、夜間水防班と日勤者の役割を明確にし、全員が水防対策者であることを共通認識とした。 ■越流時に必要な備品を確認し、不具合があったものについては修理を施し、欠品している物については手配先を確認した。 	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○府との協働による地震訓練や消防署との実地訓練の実施など業務全般を通じて実施計画書の提案などに沿った危機管理体制の確保が着実に行われている。</p>	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 大阪府の防災訓練に協力・連携し、職員の防災訓練を実施するなど、職員の知識や技術の向上に積極的に取り組んでいる点は評価できる。 引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言										
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>①「深北の日」の年間計画表を作成し、公園内と周辺の清掃・草引き・中低木の剪定等を実施。</p> <p>②各イベントを着実に実施すると共に、グリーンフェスタ・ふかきた音楽祭、サ・タ涼みの大型イベントも継続開催できた。</p> <p>③リサイクルフェアの定期的な開催(4月～11月累計で4回開催)</p> <p>④母子家庭・障がい者・シルバー人材の雇用・就労機会の創出や自立支援に取り組んだ。</p> <p>⑤大阪府の万博誘致活動に協力し、ホームページにロゴマークを掲載。</p> <p>⑥フェーストアレイ気象レーダーを活用した豪雨検知システムの実証実験に協力した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>■各イベントの開催により、地域住民との連携が深まった。</p> <p>■万博誘致の協力、エネルギー政策等府の政策に提案以上の取り組みができた。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○万博誘致におけるボランティアとの協働による花壇づくりやHP等へのロゴマーク掲載、フェーズドアレイや駐車場へのEV車優先ゾーンの設置などさまざまな府施策に積極的に貢献している。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>万博誘致におけるボランティアとの協働による花壇づくりやHP等へのロゴマーク掲載、フェーズドアレイや駐車場へのEV車優先ゾーンの設置などさまざまな府施策に積極的に貢献している点は評価できる。</p> <p>引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>										
II さらなるサービスの向上に関する事項																
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>■利用者ニーズ把握の具体的な手法</p> <p>①利用者への積極的な「お声掛け」により、日々利用者ニーズを聞き出している。</p> <p>②利用者アンケートは400枚回収。</p> <p>③管理事務所、売店に意見箱を設置、施設ホームページに問合せフォームを設置する等、利用者ニーズの収集に努めた。</p> <p>④利用者ニーズについては、ミーティング、朝礼・終礼・引継ぎ・日誌にて情報共有を図っている。また、本部への報告も定期的に行なっている。</p> <p>⑤利用者アンケートの結果は以下の通りです。(N=400)</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>39%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>48%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>4%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>9%</td></tr> </table> <p>総合的評価 1.3点(A評価)</p> <p>【自己評価】</p> <p>■利用者ニーズのサービスへの具体的な取り組み方法</p> <p>①便所は気持ちよく利用できますか(0.8点/2点満点) 洋式化の平成31年度整備に向けて府と調整を行う。</p> <p>②イベントの種類や数の満足度が低い(0.9点/2点満点) 新たなイベントやイベント開催時期等について検討します</p> <p>③売店などサービス施設の満足度が低い(0.9点/2点満点) メニューなどの改善を検討します</p>	満足	39%	やや満足	48%	やや不満	4%	不満	0%	わからない	9%	A	<p>総合評価は、1.3であった。</p> <p>○概ね満足の中でもやや満足度の低い項目や自由意見に着目し、更なる満足度の向上に努めている。</p>	A	<p>総合的な満足度は良好であり、利用者ニーズを考慮した適切な運営管理が行われていることは評価できる。</p> <p>便所清掃、売店等の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
満足	39%															
やや満足	48%															
やや不満	4%															
不満	0%															
わからない	9%															

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <p>①BBQ広場の拡張希望に対して、設置場所の移動に伴い約2倍の広さに拡張しました。 ②BBQセットの貸出要望に対しては、有料で貸出可能になりました。 ③小型犬専用ドッグランの設置要望に対して、従来のドッグラン近くに新たに開設しました。 ④イベント情報提供に対する指摘を受け、早期のイベントカレンダー掲出を意識し、イベント開催の周知を図っている。 ④スポーツ施設の料金に対する指摘を受け、テニスコートの学割、学連特別優待を実施した。 ⑤テニスコートと合わせて、軟式野球場、球技広場の半額キャンペーンを実施すると共に、早朝利用を9月末まで延長とした。</p> <p>【自己評価】</p> <p>■BBQ広場の拡張により、余裕をもって楽しめる場所になりました。 また有料BBQ広場の開設により、お客様の利便性が向上しました。 ■花壇管理者の努力により、大阪府の要望「万博誘致植栽」にも対応できた。 ■12月からのCar得キャンペーンの一環で大陶器市を誘致。来園者増に寄与するものと思われま。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○BBQ利用でのさまざまな要望のうち、拡張要望については場所の移設により実現させるとともに、BBQセットの貸出要望については有料で貸出を実施するなど、利便性の向上に向けた取り組みを実施している。</p> <p>○小型犬専用ドッグランの設置要望に対し、従来のドッグランに加え新たに別の場所に小型犬専用を設置した。</p>	A	BBQ利用での拡張要望については、場所の移設により実現させるとともに、BBQセットの貸出要望については有料で貸出を実施するなど、利用者の要望に応え利便性の向上に向けた取り組みを実施している点、小型犬専用ドッグランの設置要望に対し、従来のドッグランに加え新たに別の場所に小型犬専用を設置した点などは評価できる。 引き続き、幅広い利用者の満足度向上に努められたい。
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>①BMX広場の安全管理について、枚方土木事務所、BMX愛好家、深北緑地パートナーズの三者で、覚書を締結し、広場の安全管理に取り組んでいます。 ②樹木管理の一環として、樹木調査を基に「樹木の履歴書」を作成し、植物管理を実施している。 ③遊具管理の一環として、点検記録や修繕状況、事故事例などを基に「遊具の履歴書」を作成し、遊具の保全に取り組んでいる。 ④ラクロスのゴールを2台購入し、利用者の利便性向上に努めました。 ⑤閑散期の公園利用促進のため、12月～2月に駐車場の短時間駐車割引(Car得キャンペーン)を実施予定です。</p> <p>【自己評価】</p> <p>■ラクロスのゴール2台設置により、徐々にではあるが利用者が増えている。 ■BMX広場における覚書締結により、BMX愛好家の安全管理の取組みが功を奏し、広場での大事故を防止できた。 ■小型犬専用ドッグランの新規設置により、小型犬ユーザーの利便性が向上しました。 ■B地区円形花壇に「万博誘致植栽」の製作、ホームページへのロコ掲載等、府の万博誘致に大いに協力することができた。</p>	S	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○7月豪雨時の寝屋川の増水によるAゾーンの越流や台風21号時の約200本の倒木など多くの自然災害に見舞われたが、指定管理者の迅速な対応により早期開園につなげることができた。</p> <p>・府が発注する台風に伴う樹木撤去工事において、発注に必要な詳細な現況調査を行い、速やかな工事発注に寄与できた。</p> <p>○台風21号の影響により桜の園の桜が全滅に近い状況となったが、倒木を免れた希少品種の桜の再生に取り組んだ。</p> <p>○これまで大型犬と小型犬が混在していたがためにトラブルの絶えなかったドッグランで、小型犬専用を新たに開設することにより、トラブルを回避し、小型犬ユーザーの利便性向上に寄与するなど非常に高く評価できる。</p>	S	7月豪雨時の越流や、台風21号時の倒木など多くの自然災害に対し迅速な対応を行った点、府が発注する樹木撤去工事において、発注に必要な詳細な現場調査を行った点、ラクロスゴールを設置した点、小型犬専用のドッグランを新たに開設することにより、トラブルを回避し、小型犬ユーザーの利便性向上に寄与した点などは高く評価できる。 引き続き、新たな取組みを開発しながら来園者の満足度向上に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【深北緑地】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	【実績】 ①運営管理費 ・人件費／光熱水費／事務所運営費 ②維持管理費 ・人件費／清掃費／植物管理／保守・点検費／スポーツ施設管理費／補修・修繕費 【自己評価】 ■問題なし。	A	○支出超過や収入不足となっておらず、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ■管理体制 ①総括管理責任者…○○ ②運営管理責任者…○○ ③維持管理責任者…○○ ④個人情報担当者…○○ ⑤情報公開担当者…○○ ■職員配置計画 ①総括管理責任者…○○ ②運営管理責任者…○○ ③維持管理責任者…○○ ④運営管理補佐…○○ ⑤維持管理補佐…○○ ⑥パーク・ティナー…○○ ⑦自然環境地域連携…○○ ⑧受付(○○/○○/○○) ⑨売店(○○/○○/○○/○○) ⑩巡視(○○/○○/○○/○○/○○/○○) ⑪駐車場(○○/○○/○○/○○/○○/○○/○○) ⑫維持班(○○/○○/○○/○○/○○/○○/○○/○○/○○) ⑬所長補佐(○○) 【自己評価】 ■管理体制及び職員配置計画は、H30年度事業計画書通り実施中。	A	○管理体制や職員計画は当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ①一級造園施工管理技士…○○ ②防火管理者(甲種)…○○ ③電気主任技術者…○○(外注) ④危険物取扱者(乙4種)…○○ ⑤公園管理運営士…○○ ⑥体育施設管理士…○○ 【自己評価】 ■H30年度事業計画書通り実施中。	A	○資格を持つ必置技術者を適正に配置するなど、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ①朝礼時に危険予知ミーティングを行い、その日の注意事項を確認。また終礼時に報告会を行い、問題点を全員で共有し、労働災害防止や来園者への安全対策に取り組んでいる。 【自己評価】 ■11月時点においては労働災害、維持管理の瑕疵による来園者事故の発生はない。	A	○朝礼や終礼で注意事項や問題点を共有し、労働災害や来園者への安全対策に取り組むなど、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ応募時の提案を満足する。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 深北緑地パートナーズ構成企業のミス/株、西武造園株、株地域環境計画の3社は経営状態に大きな変化はなく、今後も安定して指定管理業務を継続できる見込み。 【自己評価】 ■代表企業のH31年3月期の業績予想は売上1,900億円、経常利益90億円の見通し。	A	○経営状況に大きな変化はなく、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	構成団体の財政状態は良好である。